

第5回 ホームカミングデー2010

2010年11月6日(土)開催

生田キャンパス10号館(130年記念館)など



(左から)菅沼堅吾育友会長、甘竹秀雄校友会会長、日高義博理事長・学長

司会の日高治子
キャスター
(平11・経営)

秋晴れのこの日、友人同士、ご夫婦、ご家族連れなど、校友ら511人が参加しました。久しぶりの母校で恩師や校友との再会、中には数十年ぶりの再会もありました。懇親会「歓迎セレモニー&交流会」には本学の4人の創立者たちを描いた映画『学校をつくろう』の神山征二郎監督と主人公・相馬永胤の妻を演じた近衛はなさんがあいさつされ、大きな拍手を浴びていました。



生田校舎に、ほど近い小田急線沿線にお住まいの内藤さん。在学中は地理学研究会に所属され、泊りがけで離島の生活についての調査もされたとのこと。
「一番、印象に残っているのは、三島由紀夫の小説『潮騒』の舞台にもなった三重県の神島です。自宅と生田校舎は近いのですが、卒業してから来る機会がありませんでした。校舎も景色も一変しているのに驚きました」



内藤倫夫さん
(昭35・商経経)

左から山崎崇代さん(平12・法律)、竹谷朋子さん(旧姓:鈴木 平12・英文)、奈々美ちゃん(5歳)、春香ちゃん(6カ月)、竹谷 潤さん(平11・法律)



お三人とも本学出身。山崎崇代さんと竹谷朋子さんは、地元の中学・高校、そして本学と、ずっと一緒でした。ご主人の竹谷 潤さんは、本学の大学院事務課にお勤めです。

山崎さん「出席するかどうか迷っていたのですが、友人の竹谷さんから誘われてやってきました。せっかくですので来たときは、あの坂道を歩いてきました。新鮮でした」
竹谷朋子さん「主人が昨年の「ホームカミングデー」に出席していて、そういう催しがあることを教えてもらいました。10号館を見たいな、という気持ちが強かったですね」

竹谷 潤さん「実は私、校友会の学内支部も担当しています。今年は妻が対象で、新しい10号館を妻や子どもたちに案内したいと思っています」



2010年11月19日(金)

第5回 校友会ワイン大学

専修大学神田キャンパス1号館15階 報恩の間



開催告知をすると、アッという間に定員に達するほどの人気の「ワイン大学」も、数えて5回目。当日は校友をはじめ学生たち、留学生などに加え、一般の方も参加されるなど、広がりや盛り上がりを見せました。講師の江畑さんから、「ワインと健康」と題し、ワインの健康的な飲み方、楽しみ方など興味深いお話がありました。



甘竹秀雄
校友会会長



日高義博
理事長・学長



高田賢一
育友会副会長



講師の江畑進一(衛シ)・トレーディング代表取締役

会場には「アドニス」のバックナンバーの表紙、53号の「歴史対談」などを掲示し、アピールしました。

校友会ワイン大学は、専修大学カード会員拡大キャンペーンの一環として実施しております。



ワイン大学は回を重ねるごとに、本学関係者だけではなく、一般の方の参加も増えています。

飯田邦幸さん「去年、参加した友人から、ワインもおいしいし、お話しも面白いと誘われました。いろんな方ともお話ができて、楽しいですね」

愛子さん「とっても楽しい会ですので、来年も参加したいと思います」



お仲間と一緒に参加した、法科大学院の皆さん。目指せ、新司法試験合格!



食材提供者ご芳名: 信州火腿株式会社 関 宏之様(昭53・経済)より生ハム・ソーセージ他 110名分、専修大学北海道短期大学(専大ファーム)より、じゃがいも(男爵) 40キロ